

令和 5 年度政策評価報告書 作成に当たってのコンセプト

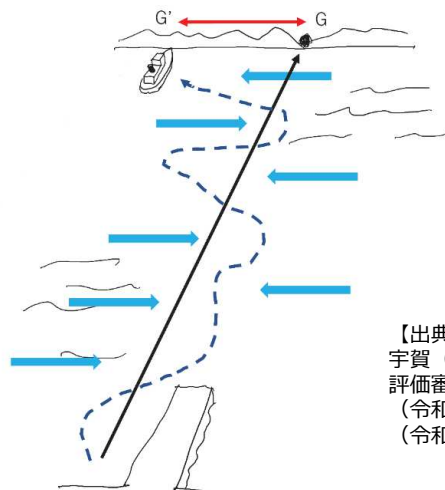
コンプライアンス・行政経営課政策評価室

時代の変遷に伴う政策評価に期待される役割の変化

単なる事後評価としての政策評価 ⇨ 現在地から政策の目的地へ向けた「ナビゲーション」の役割へ

これまでの政策評価

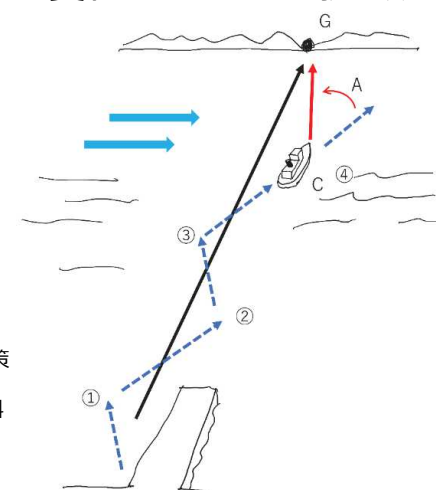
船が対岸に着いてから、
当初の目的地との乖離を調べて評価を実施



【出典】下記を参考に作成
 宇賀（2002）、折田（2023）、南島（2017）、政策評価審議会（令和3年3月）、政策
 評価審議会（令和4年3月7日）、政策評価審議会（令和4年5月）、政策評価審議会
 （令和4年12月）、一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構資料
 （令和5年2月13日）

これからの政策評価

適切に現在地を把握し、
状況の変化に応じて機敏な航路変更



中央省庁等改革や情報公開の推進と同時期に制度確立
（2000年代前半）

説明責任（アカウンタビリティ）

目標管理型評価
（数値目標による業績モニタリング・進捗管理）

「目標を達成したから良い、達成できなかったから悪い」という
発想に陥りがちであり、施策の見直し・改善に資する十分な情報
を提供しにくい

時代背景

主な目的

代表的手法

課題

デジタル化など社会経済の急速な変化、新型コロナ等前例がなく
予測困難な課題への対応（2010年代後半～）

機動的かつ柔軟な政策の見直し

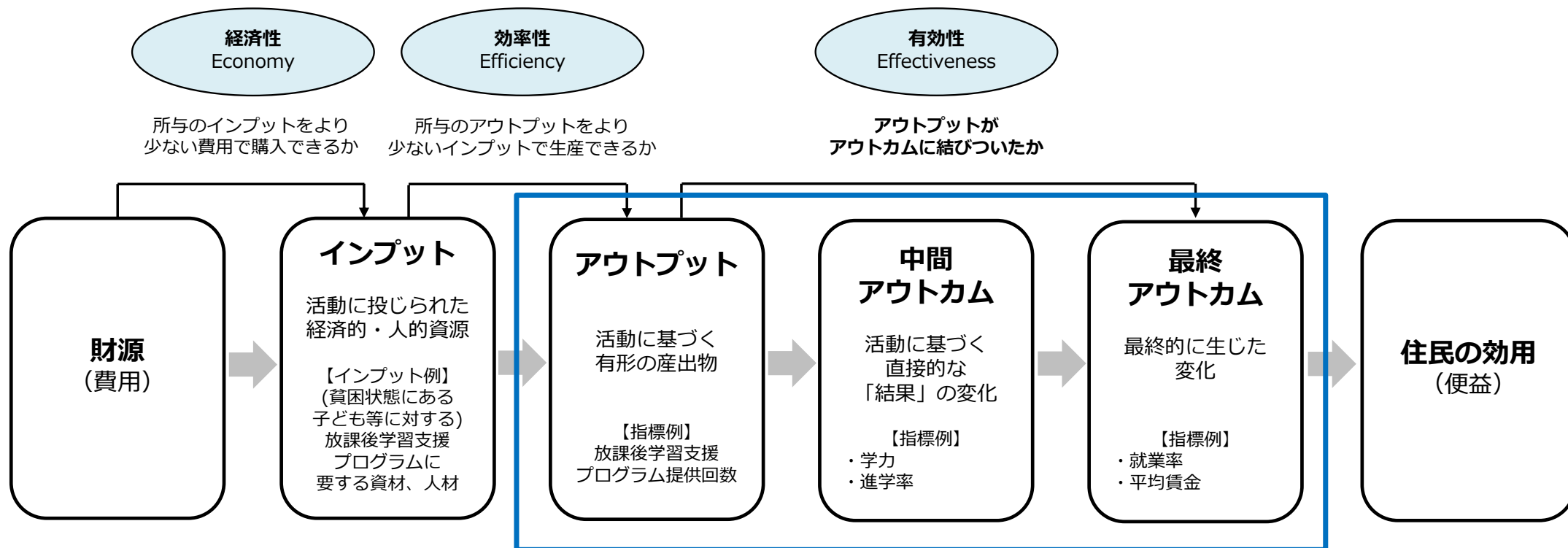
- ①EBPM（データ等のエビデンスに基づく正確な現状把握と政策の企画立案への応用）
- ②ロジックモデル（政策目的と手段の論理的なつながりの明確化）

- ①政策目的、②実現するための手段、③モニタリング指標の整理が必要

機動的かつ柔軟な政策の見直しに必要なこと

・政策の見直しには、政策が住民の効用（便益）の代理指標となるアウトカムに結びついているかの検証が必要
⇒政策のロジックを整理した上で、適切な成果指標に基づいて、政策が有効に機能しているかを検証

【政策実施過程と政策評価の対応関係】



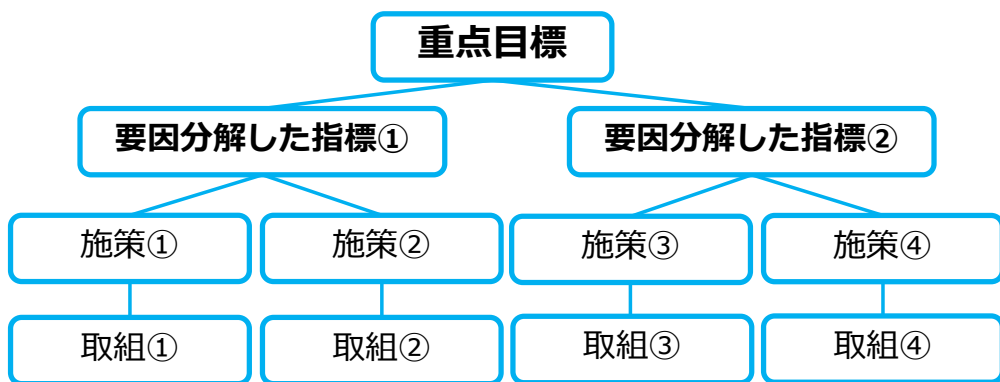
政策評価の主な目的

【出典】下記を参考に作成
小林 (2019)、小林 (2022)、佐藤編 (2021)、鷲見 (2021)、長峯 (2014)、内閣官房行政改革推進本部事務局 (2022年11月7日)

令和5年度政策評価報告書の作成方法

- ・ 目標としていた成果指標（政策目的を代理的に表すもの）に対して、実施した施策・取組が有効に機能したかどうかを、**政策の構成要素のつながりを整理した上で「中間的なアウトカム」を意識して分析、評価**
⇒ **プラン2.0の進捗状況を総括し、プラン3.0における効果的・効率的な施策の実施へとつなげていく**
※プラン3.0においても、今回の方法をベースに、施策目的と実施手段を明確に整理して評価を実施していく

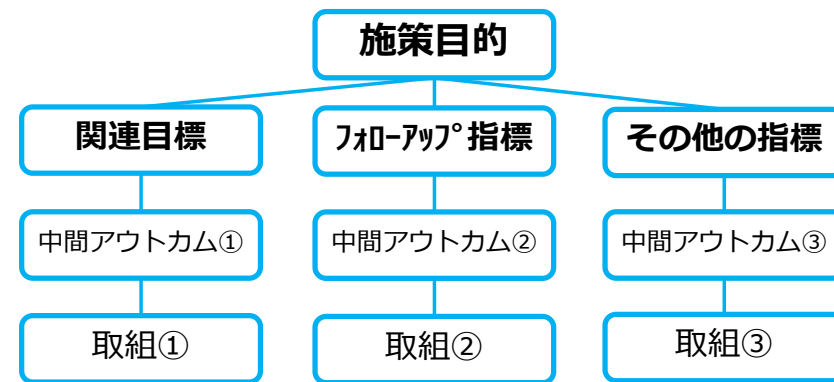
8つの重点目標



- (1) 重点目標を要因分解
- (2) 各要因の状況と、それを改善させるために実施した施策・取組を整理して記載
- (3) 施策・取組の施策目的に対する有効性や、成果と課題について分析

要因分析を踏まえ、今後の施策の方向性を記載

総合的に展開する重点政策



施策分野ごとに、その施策目的に対する進捗状況を評価するのにふさわしい指標を整理

取組が指標の改善につながったかどうかを、中間アウトカムを交えて分析

※取組に関連する事業改善シートも併せて表示

参考文献

宇賀克也（2002）、『政策評価の法制度』有斐閣。

折田裕幸（2023）、「アジャイル型の政策形成・評価の実現と政策評価制度の見直し」令和4年度総務省「政策評価に関する統一研修」2023年2月22日講義資料。

小林庸平（2019）、「解説 エビデンスに基づく政策形成の考え方と本書のエッセンス」、デュフロ・グレナスター・クレマー『政策評価のための因果関係の見つけ方 ランダム化比較試験入門』日本評論社、2019。

小林庸平（2022）、「政策評価とEBPMをどう連動させるか？－基本的な考え方と実践例－」令和3年度総務省「政策評価に関する統一研修」2022年1月21日講義資料。

佐藤徹編（2021）、『エビデンスに基づく自治体政策入門 ロジックモデルの作り方・活かし方』公職研。

南島和久（2017）、「行政管理と政策評価の交錯－プログラムの観念とその意義－」『公共政策研究』17号、pp.83-95。

政策評価審議会、「政策評価審議会提言」（令和3年3月）。

政策評価審議会、「第27回政策評価審議会（第30回政策評価制度部会との合同）森田朗委員提出資料」（令和4年3月7日）。

政策評価審議会、「デジタル時代にふさわしい政策形成・評価の在り方に関する提言」（令和4年5月）。

政策評価審議会、「デジタル時代にふさわしい政策形成・評価の実現のための具体的方策について」及び岡素之政策評価審議会議長談話（令和4年12月）。

内閣官房行政改革推進本部事務局、「EBPMガイドブックver1.0」（2022年11月7日）。

一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構、「アジャイル型地域包括ケア政策共創プログラム 事業報告資料」（令和5年2月13日）。